

第6回大橋川景観アドバイザー会議

議事要旨

【日時・場所】

日 時 : 平成26年8月6日(水) 10:00~12:00
場 所 : 島根県民会館307会議室

【出席者】

大橋川景観アドバイザー会議委員
飯野委員、井ノ上委員、片寄委員、松本委員、吉田委員、舛田委員

事務局

出雲河川事務所

【議事次第】

開 会

挨拶 (出雲河川事務所長)

委員紹介

座長挨拶

議 事

閉 会

【配布資料】

議事次第

席次表

資料-1 大橋川景観アドバイザー会議 規約改正案

資料-2 向島川樋門整備説明資料

資料-3 福富地区(上流地区)護岸・樋門整備説明資料

【議事要旨】

①規約改正について

- ・異論なし。平成 26 年 8 月 6 日付で改正。

②向島川樋門整備について

《配色》

- ・転落防止柵や機器類をダークブラウンに塗装するのであれば、扉体も同じ塗色にした方が良い。
- ・コンクリート洗い出しの素材感を活かすためには、転落防止柵や機器類はグレー系の塗色が良い。
- ・樋門上部の柵などがダークブラウンでは近くを歩く人からは圧迫感がある。遠景からは目立たないが、近景になるとダークブラウンは少し強すぎる印象がある。
- ・グレー系だけで統一してしまうと、味気ないようになってしまう。横方向にアクセントになるラインが必要。構造美を強調するようなアクセントを入れてみてはどうか。
- ・ステンレス鋼材は、施工当初はキラキラするが、次第に反射しない落ち着いた風合いになるので、扉体はステンレス鋼の素材そのものの色で問題無い。
- ・この地方の空は灰色であることが多い。ダークブラウンは目立つ可能性がある。
- ・松江大橋や新大橋の桁の色など、周辺との関係も考える必要がある。樋門上部の柵などはダークグレーを検討して欲しい。
- ・樋門上部の柵などはダークグレーとし、その風合いについて、次回の会議で検討し、最終決定とする。

《構造物本体》

- ・構造物の面取りを少し大きくとると柔らかい感じがする。鉄筋の被り等にも配慮しつつ検討して欲しい。

③福富地区(上流地区)護岸・樋門整備について

《護岸(一般部・荷揚場部)》

- ・ヒトハリザトウムシのような貴重な生物がいる環境は多様な生物がいると思われるので、事務局より提示された奥行きのある環境に配慮した護岸の採用が妥当。
- ・提案の環境ブロックは縦目地が強調されて見えるので、工夫が必要。
- ・ブロックの種類が縦断的に変わってくるので、それぞれで景観的統一感を図る必要がある。
- ・一般部については遠景ではヨシで見えなくなるかもしれないが、近景としては一般部も荷揚場部も統一性のある表面仕上げが必要。
- ・ブロックの種類の変化点の処理を上手にしないとイケない。

- ブロックの種類が変わるところでは、クッションとして石を配置するなどの工夫を行い、子供たちの観察場になれば良い。
- 荷揚場部はホーランエンヤの舞台の 1 つになっており目立つ場所である。この箇所で、石、ブロック、コンクリートが使用されるのであれば、連続性に配慮したものとされたい。
- 荷揚場部は明度の高い粗面ブロックが提示され、3年程度で明度が落ちるとの事だが、それまでは、対岸からはかなり白く見える。色粉を混ぜ明度を落としたものを検討いただきたい。

《天端保護》

- 異論なし。色については地域の方と議論していく。

《樋門》

- 向島川の樋門と同様に、構造物角部の面取りを少し大きめするなど工夫をして欲しい。
- 階段から樋門の方に入らないように、安全上の工夫を検討して欲しい。
- 樋門躯体の表面仕上げについて、洗い出し仕上げ等で、表面がツルツルにならないよう配慮する。

以 上